

事業概要シート

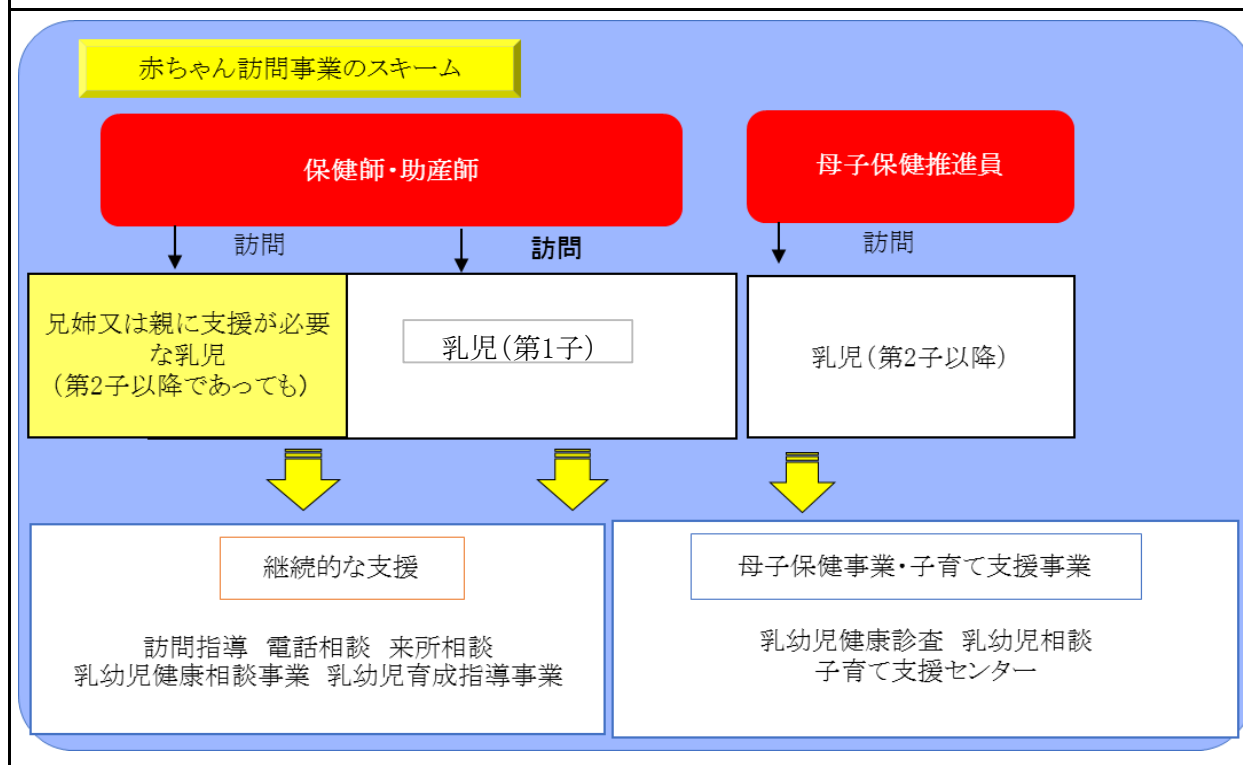
施策 0102 親と子の健康増進

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	赤ちゃん訪問事業	現状維持	予算額	7,819 千円
			《 7,145 》千円	
事業期間	平成19年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	2,062 千円
根拠法令 要綱等	母子保健法、第2次健康おおむら21計画、子ども・子育て支援交付金要綱		県支出金	2,062 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	3,695 千円

【事業の目的・概要・対象】

保健師・助産師が第1子、母子保健推進員が第2子以降の乳児家庭を生後4か月までに訪問し、育児の状況等を把握し、乳児の順調な発育を支援する。また、出産後の母親の体調管理を含め、育児への悩みの相談や子育てに関する情報を提供する。支援が必要とされる家庭については、子育て支援事業の情報提供、母子保健事業の案内など、継続した支援を行う。訪問できなかった家庭に対しては、保健師が継続的に連絡を取り対応する。



【背景】

近年は核家族化が進み、親族と離れたところで妊娠・出産することが多くなっている。さらに、社会心理的背景から親と子の関係に様々な事情を抱え、親を頼れない妊産婦が少なからずいる。一日の多くを一人で子育てしている家庭も多く、乳児の健やかな発達のためには、育児に関する不安や悩みを解消し、様々な関係機関が支援を行うことが重要となっている。

担当課	こども未来部こども家庭課	課長	西村 隆
担当者	田原 美玖	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	赤ちゃん訪問件数（保健師・助産師）	計画値 件	636	558	583	583	583
②	赤ちゃん訪問件数（母子保健推進員）	計画値 件	250	276	295	295	295

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	保健師・助産師訪問率	計画値 %	88.4	89.7	87.6	87.6	87.6
②	母子保健推進員訪問率	計画値 %	95.0	92.3	90.0	90.0	90.0

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	6,949	6,970	7,145	7,819	7,819	7,819	44,521
国庫支出金	1,942	1,685	2,202	2,062	2,062	2,062	12,015
県支出金	1,942	1,685	2,202	2,062	2,062	2,062	12,015
地方債							0
その他							0
一般財源	3,065	3,600	2,741	3,695	3,695	3,695	20,491
人件費	5,714	5,538	7,273	7,273	7,273	7,273	40,342
職員(人)	0.75人	0.75人	0.98人	0.98人	0.98人	0.98人	5.42人
時間外勤務(h)	130h	42h	73h	73h	73h	73h	464h
嘱託員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	12,663	12,508	14,418	15,092	15,092	15,092	84,863

妥当性 (市の関与)	全ての乳児家庭を訪問し、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援を図ることにより虐待等の防止につなげることができる。また、母子保健事業・子育て支援事業とを関連させて支援を継続することができる。
有効性 (施策貢献度)	育児に関する不安や悩みを傾聴するとともに、子育て支援に関する情報提供を行うことにより、乳児の健全な発達育成につながっている。
効率性 (コスト)	第2子以降は、母子保健推進員が訪問し、コストの削減に努めている。母子保健推進員は、地域内の家庭を訪問しており、身近な子育てサポーターとして活動している。また、スキルアップのため、年に1～2回の研修を行っている。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり